

平成28年度 「幼児教育に関わる実態調査（アンケート）」の結果について

I 調査の概要

1 調査目的

本調査は、幼児教育の充実のために策定した第2期「学ぶ土台づくり」推進計画の進行管理を行っていく上での基礎資料とするとともに、今後の幼児教育の取組の企画立案に反映させる手掛かりを得るものとして実施する。

2 調査範囲

県内の国公立・私立の幼稚園、保育所、認定こども園及び認可外保育施設

3 調査対象

- (1) 県内全ての幼稚園、保育所、認定こども園及び認可外保育施設の全教員と保育士（臨時職員、非常勤職員及び講師を除く）
- (2) 県内全ての幼稚園、保育所、認定こども園及び認可外保育施設の全園児の保護者

4 調査方法

- (1) 教員と保育士…インターネットによる回答
調査対象者（教員、保育士）が宮城県教育庁教育企画室のウェブサイトへアクセスして回答（宮城県電子申請システムの活用）、その内容を県のサーバーに送信する。（無記名、多肢選択方式）
 - (2) 保護者…インターネットによる回答
調査対象者（保護者）が宮城県教育庁教育企画室のウェブサイトへアクセスして回答（宮城県電子申請システムの活用）、その内容を県のサーバーに送信する。（無記名、多肢選択方式）
- ※ 原則としてパソコンやスマートフォン等を利用したインターネットによる回答とするが、インターネット環境が無いなどの理由がある場合は、紙媒体での回答も可能とする。

5 調査期間

○ インターネットによる回答

平成28年6月20日（月）午前9時から平成28年7月4日（月）午前9時まで

※ 紙媒体の回答は、平成28年7月7日（木）まで

6 調査内容

第2期「学ぶ土台づくり」推進計画に定めた4つの目標ごとに、以下の点を調査する。

- ・親子間の愛着形成の現状
- ・子どもの基本的な生活習慣の現状
- ・子どもの体験活動の現状
- ・幼児教育の環境についての現状 等

7 回答数

対 象	依頼箇所数	回答数（人）						
		園長・所長	回答率	教諭・保育士	保護者（父）	保護者（母）	保護者（その他）	
幼稚園	国公立	77	39	50.6%	170	44	433	0
	私立	162	28	17.3%	151	74	1,034	1
	計	239	67	28.0%	321	118	1,467	1
保育所	公立	179	45	25.1%	400	67	590	1
	私立	220	36	16.4%	154	54	377	0
	計	399	81	20.3%	554	121	967	1
認定こども園		29	6	20.7%	40	23	308	0
認可外保育施設		242	15	6.2%	68	9	152	0
計			169	18.6%	983	271	2,894	2
総 計	909		1,152		3,167			
		4,319						

※参考：H27調査回答 3,591人

（園長等：1,684人、保護者：1,907人）

第2期「学ぶ土台づくり」推進計画 幼児実態調査(アンケート)回答数

	H23	H24	H25	H26	H27	H28
回答総数		1,954	1,282	2,465	3,591	4,319
幼稚園	1,916	1,222	757	1,267	1,228	1,974
保育所		732	525	1,198	1,990	1,724
認定こども園	—	上記の人数に含まれています。				377
認可外保育施設	—	—	—	—	373	244

II 集計結果

幼児教育に関わる実態調査（園長・所長・教諭・保育士等対象）

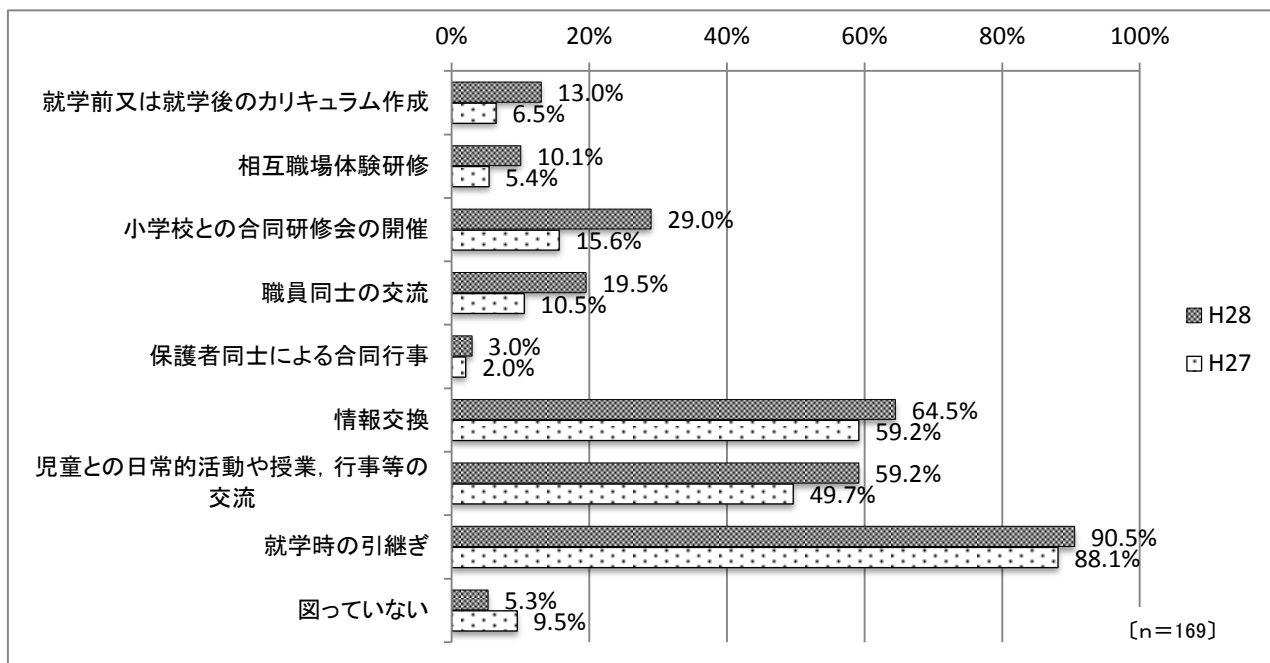
※回答方法の割合：パソコン 56.5% スマートフォン 22.4% 紙 21.1%

1 幼・保・小連携について【園長・所長のみ回答】

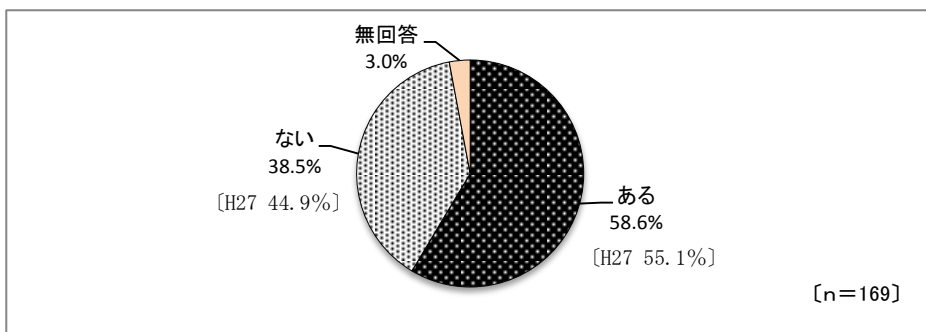
1-1 幼・保・小連携の内容（複数回答）

★ 目標指標 14

小学校とどのような内容の連携を図っていますか。（該当するもの全てを選択）



1-2 小学校との連携を図るための連絡協議会等の連携組織がありますか。（該当するもの1つ選択）

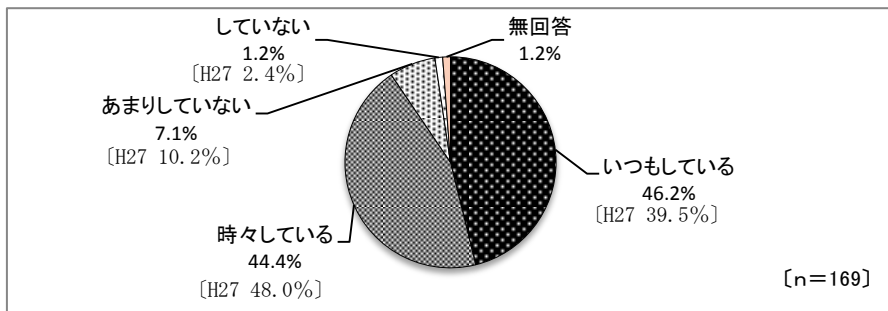


<考察>

・小学校との連携内容では、「小学校との合同研修会の開催」との回答割合が、昨年度に比べ13.4%増え、最も増加した。連携を「図っていない」と回答したのは5.3%であり、昨年度より4.2%減少した。連携組織についても、「ある」の回答割合が3.5%増加した。

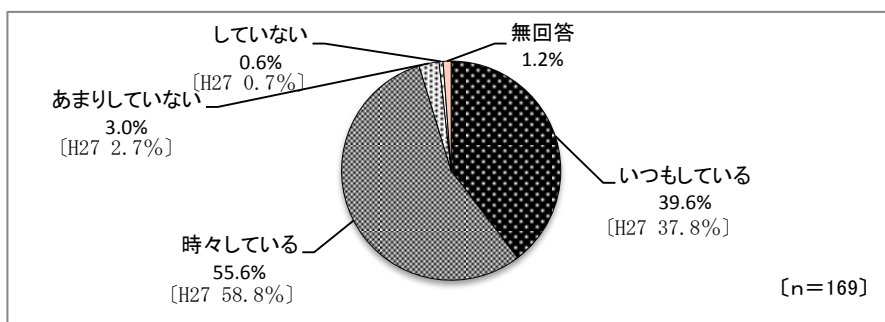
2 基本的な生活習慣について 【園長・所長のみ回答】

2-1 幼稚園又は保育所の活動において、「はやね・はやおき・あさごはん」運動などの基本的な生活習慣の確立のための取組をしていますか。（該当するもの1つ選択）



★ 目標指標 6

2-2 基本的な生活習慣の確立のために、家庭への啓発をしていますか。（該当するもの1つ選択）



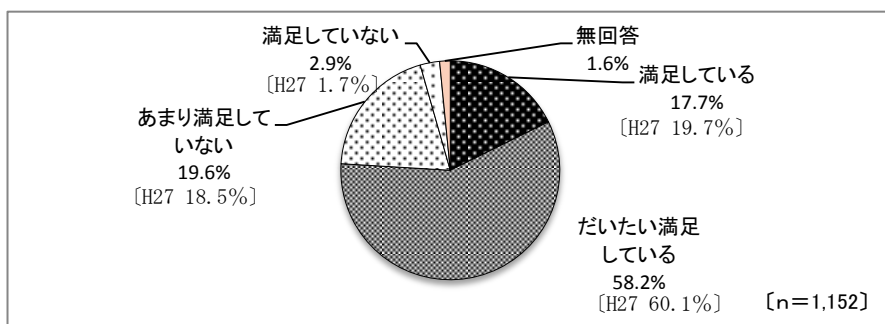
具体的な取組

（自由記述から抜粋）

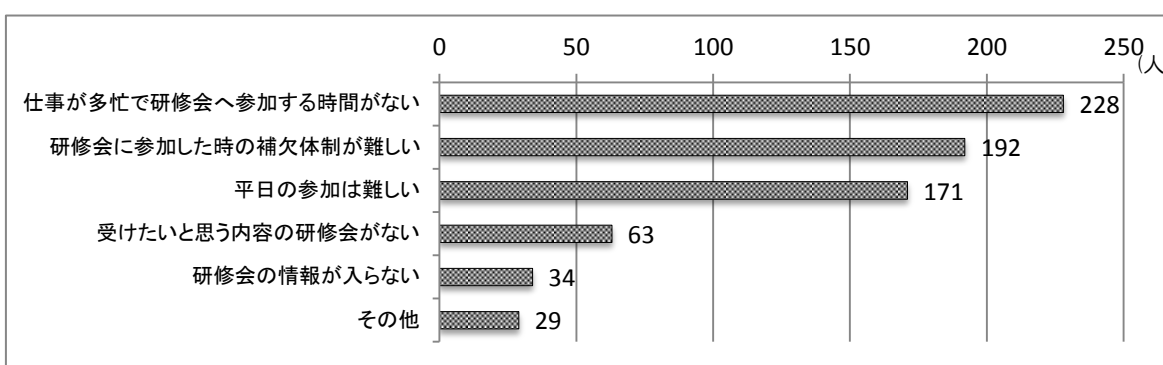
- ・ルルブルを活用し啓発
- ・お便りで周知
- ・保護者会で説明
- ・朝の会で起床・就寝時間等を発表
- ・食習慣・生活習慣がんだりカードへコメントをもらう 等

3 研修について

3-1 現在の研修状況についてお答えください。（該当するもの1つ選択） ★ 目標指標 15



3-2 3-1で「あまり満足していない」又は「満足していない」と回答した方は、その理由をお答えください。（該当するもの全てを選択）



<考察>

・研修状況については、昨年度より全体的に満足していない傾向が見られる。その理由としては、「参加する時間がない」の回答が最も多く、「あまり満足していない」「満足していない」との回答者の約9割が選択している。「補欠体制が難しい」「平日の参加は難しい」との回答数も多い。

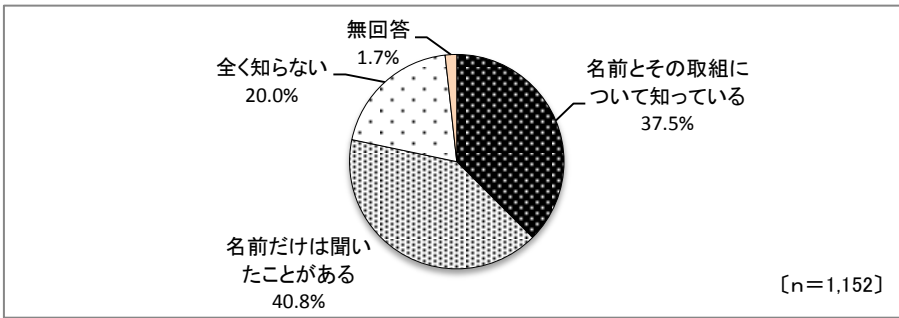
3-3 今後、受講したい研修会等の内容についてお答えください。（自由記述）

<主な記述内容>

- ・ 園長（管理職）研修
- ・ 国の施策や制度についての研修
- ・ アプローチカリキュラムについて
- ・ 食育に関するもの
- ・ 特別支援に関するもの
- ・ 保護者対応・支援等に関するもの
- ・ カウンセリングに関するもの
- ・ コーチングに関するもの
- ・ 実技（リトミック、わらべうた、手遊び、運動遊び、絵画指導、音楽）に関するもの
- ・ 小学校の現状
- ・ 幼児教育・保育の質の向上に関するもの

4 「学ぶ土台づくり」について

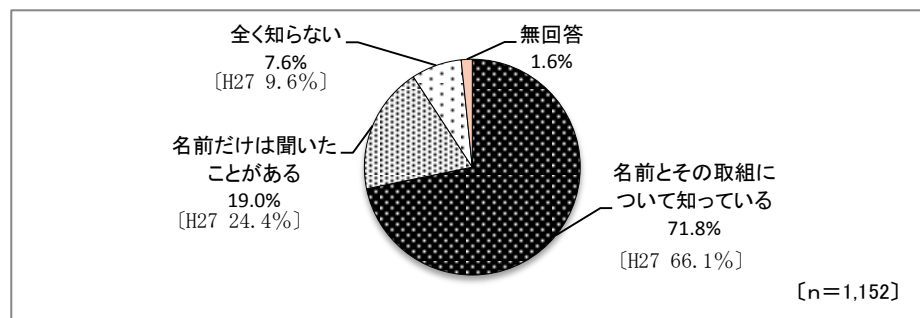
県では幼児期の教育の一層の充実を図るために「学ぶ土台づくり」推進計画を策定し、様々な取組を行っていますが、知っていますか。（該当するもの1つ選択）



※ H28 追加項目

5 ルルブル（しっかり寝ル・きちんと食ベル・よく遊ブで健やかに伸びル）について

県では、子どもの基本的な生活習慣の確立に向けて「ルルブル」の取組を行っていますが、知っていますか。（該当するもの1つ選択）



幼児教育に関わるアンケート (保護者対象)

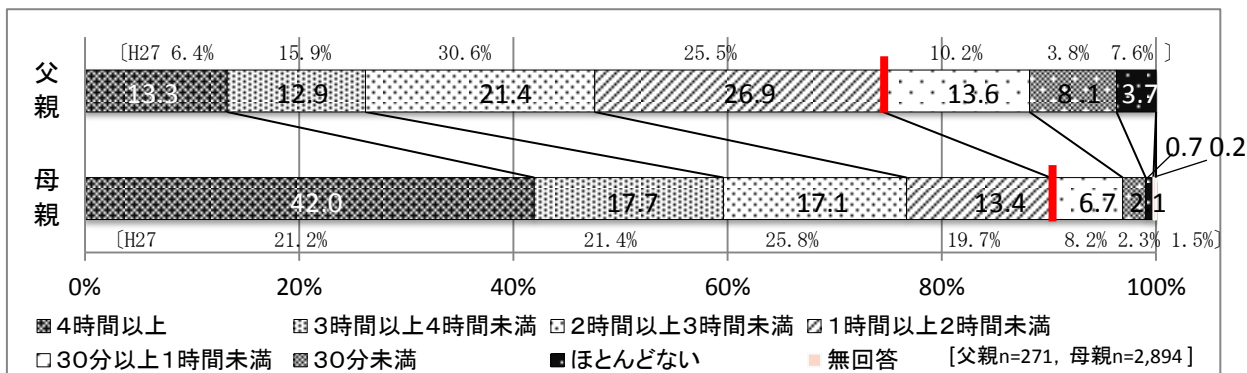
※回答方法の割合：パソコン 28.4% スマートフォン 49.0% 紙 22.6%

1 親子の関わりについて

1-1 子どもと触れ合う時間

★ 目標指標 1

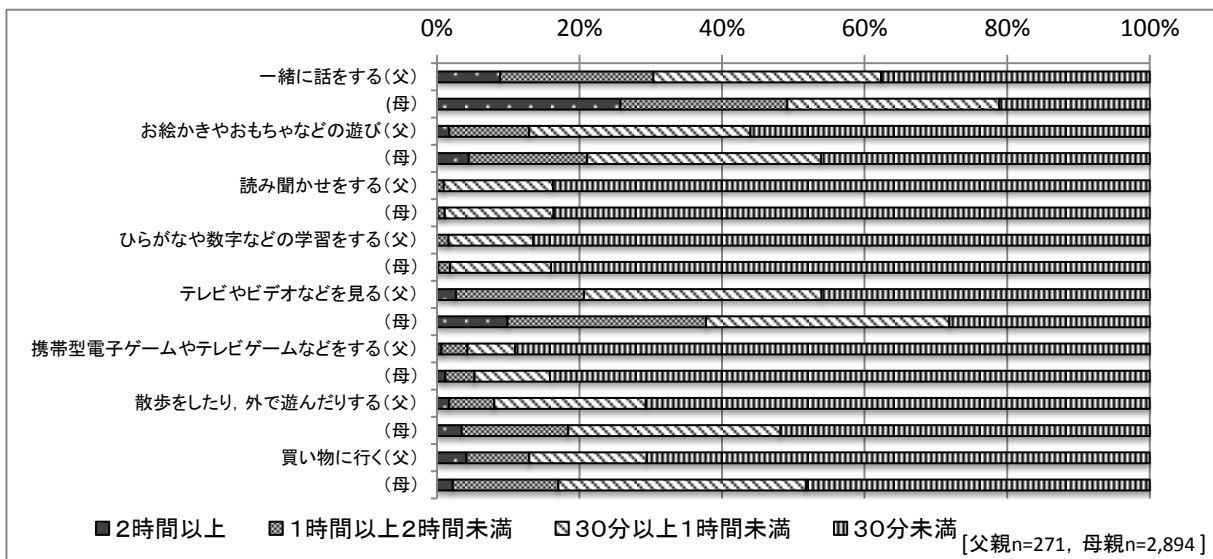
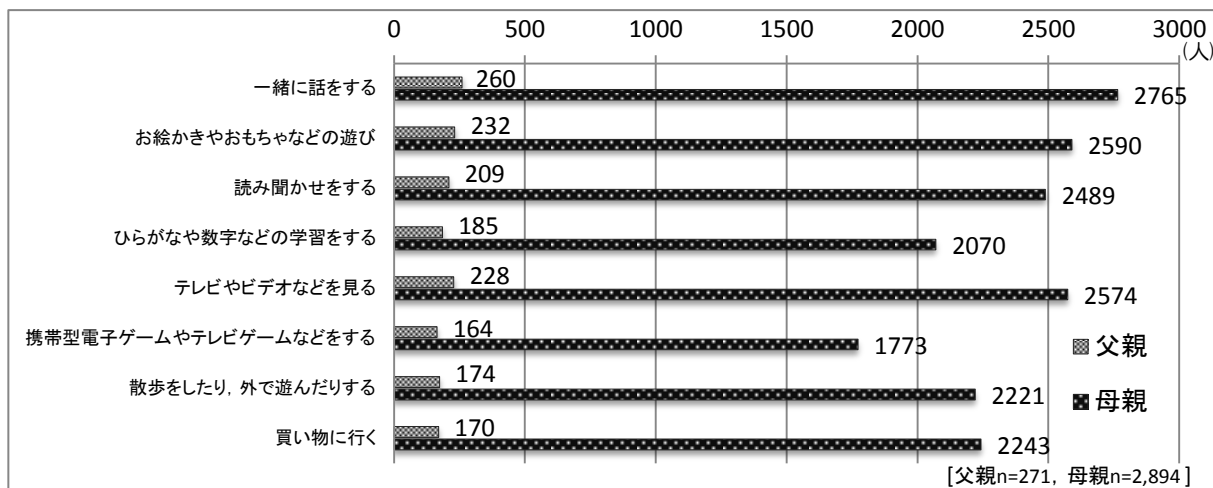
あなたは、平日（休日以外）にお子さんと触れ合う時間はどの位ありますか。（食事と入浴を除いた1日当たりの平均時間）（該当するもの1つ選択）



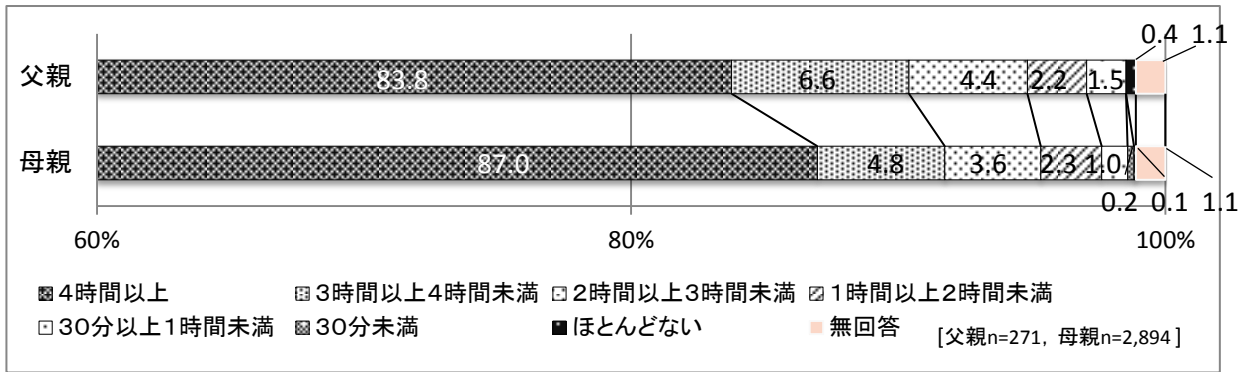
1-2 子どもと触れ合う内容

★ 目標指標 2

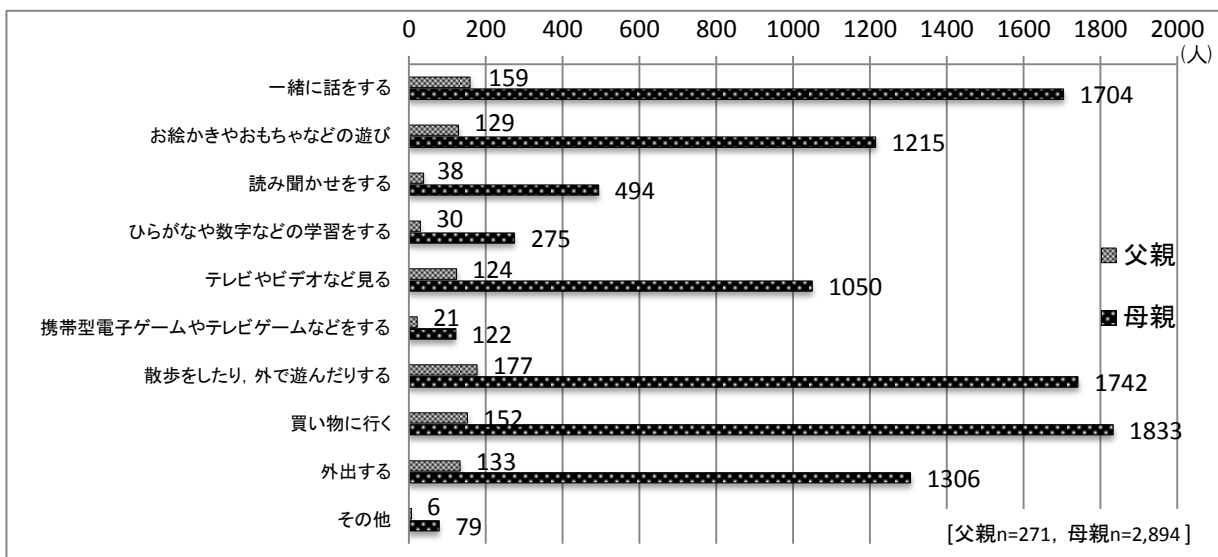
あなたは、1-1で回答した時間において、お子さんと一緒に何をすることが多いですか。（該当するもの全てを選択し、それぞれの時間も選択）



1-3 あなたは休日にお子さんと触れ合う時間はどの位ありますか。（食事と入浴を除いた1日当たりの平均時間）（該当するもの1つ選択）



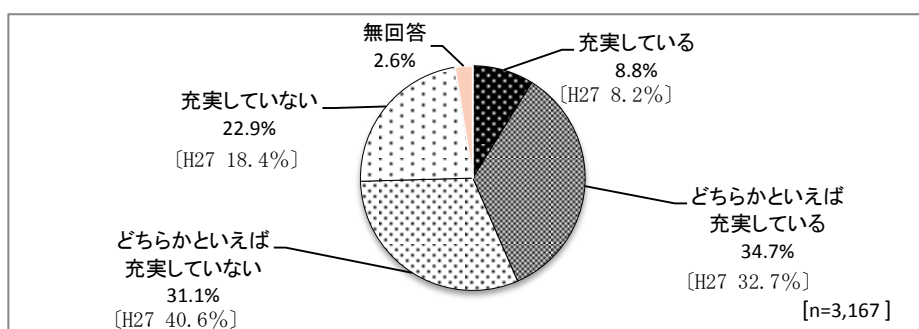
1-4 あなたは1-3で回答した時間において、お子さんと一緒に何をすることが多いですか。（該当するものを3つまで選択）



<考察>

- 平日子どもと触れ合う時間が4時間以上と回答した母親は全体の42.0%となり、昨年度より約20%増加し、全体的に触れ合う時間が増加している。一方父親は触れ合う時間が1時間未満と回答した割合が21.6%から25.4%となり、減少傾向にある。
- 触れ合う内容の中で県で推奨している「読み聞かせ」について、平日に行っていると回答した父親は増え、割合では約40%の増加となっている。母親も増加傾向にある。また、触れ合う内容の中で平日に母親がテレビやビデオを見る時間が長くなっている。

1-5 親として成長していくための学ぶ機会（母親学級や父親学級、両親学級など）は充実していますか。（該当するもの1つ選択）



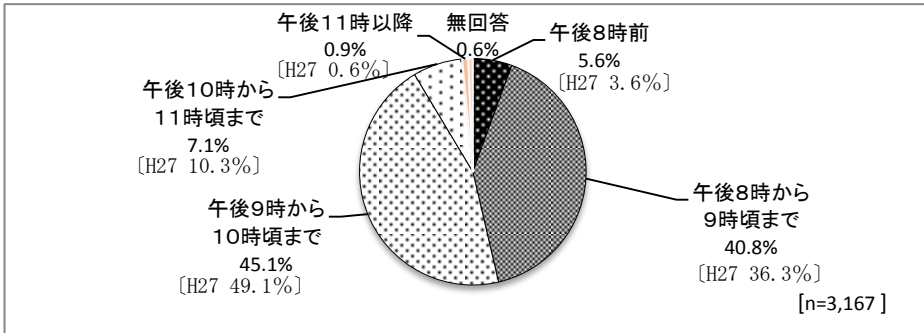
★ 目標指標 4

2 子どもの基本的な生活習慣について

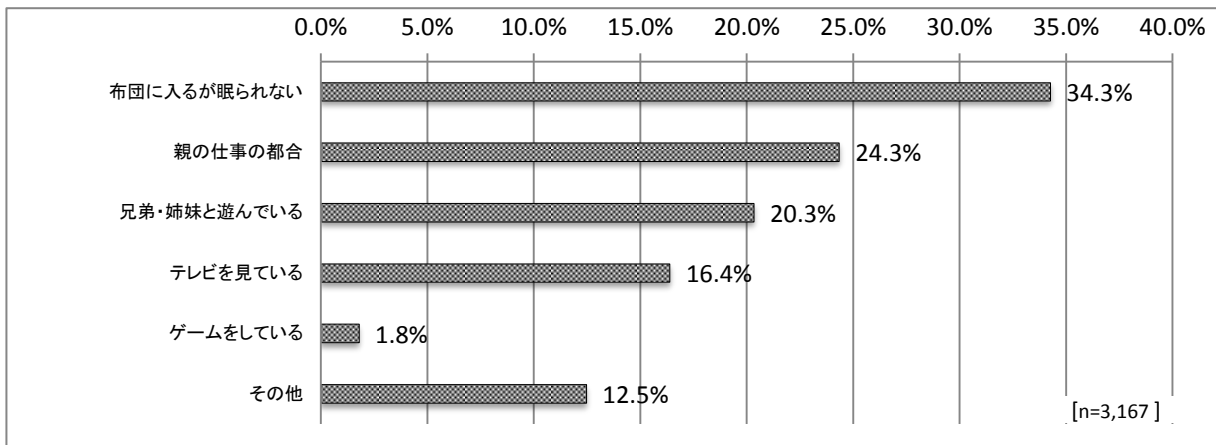
2-1 就寝時間

★ 目標指標 5

お子さんはいつも何時頃に寝ていますか。（該当するもの1つ選択）

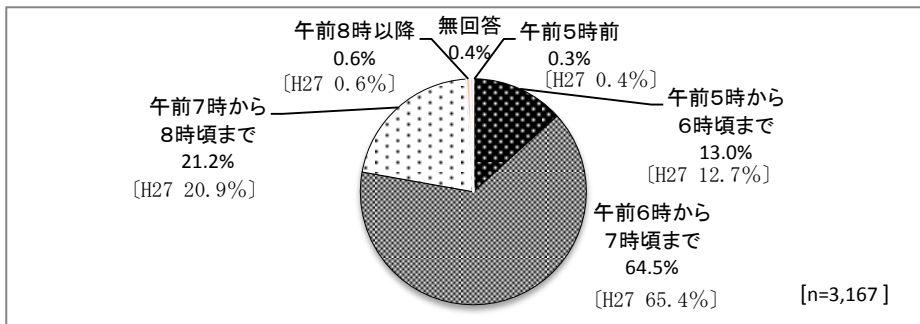


2-1-1 お子さんが午後9時以降に寝ることがある場合どのような理由ですか。（該当するもの全て選択）



2-2 起床時間

お子さんはいつも何時頃に起きますか。（該当するもの1つ選択）

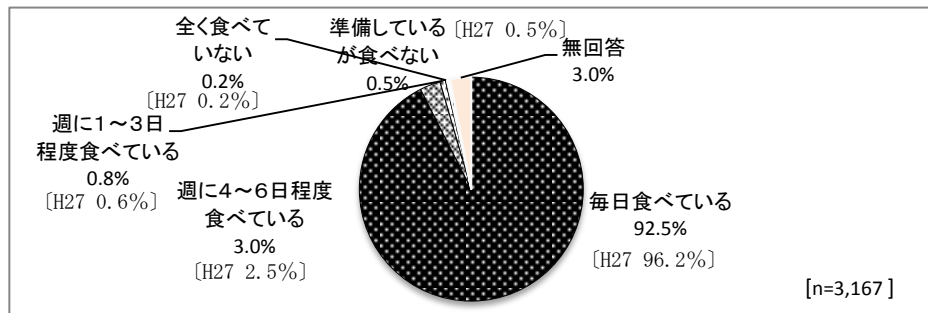


<考察>

- ・就寝時間については、午後9時までに寝るとの回答が増加したが、午後11時以降に寝るとの回答も0.3%増えている。午後9時以降に寝ることがある理由として「布団に入るが眠れない」が最も多く全体の34.3%となった。「親の仕事の都合」の回答率は前年度より6.4%減少している。「その他」の回答の記述内容を見ても「昼寝を長くしてしまったとき」や「昼寝の時間が遅かったとき」等の回答が多く見られた。また父親に関連して「帰ってくるタイミング」等の回答も見られる。
- ・午前8時以降の起床時間の回答者は、全員午後9時以降の就寝時間となっており、起床時間と就寝時間の相関関係が分かる。

2-3 朝食摂取

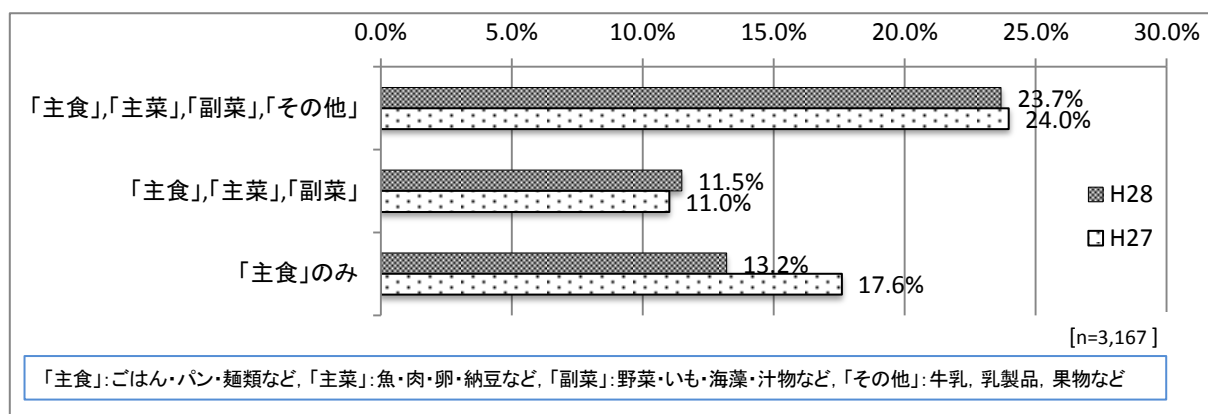
お子さんは毎日、朝ごはんを食べていますか。（該当するもの1つ選択）



2-4 朝食の内容

★ 目標指標 7

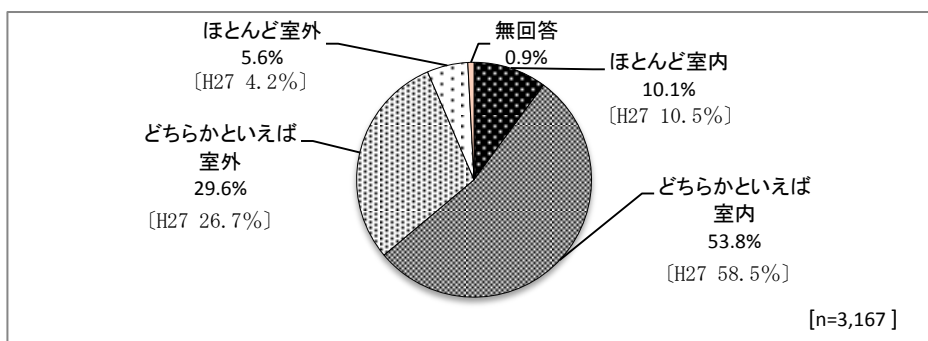
お子さんの朝ごはんにそえるものは「主食」「主菜」「副菜」のどれが多いですか。（該当するもの全て選択）



2-5 遊ぶ場所

★ 目標指標 8

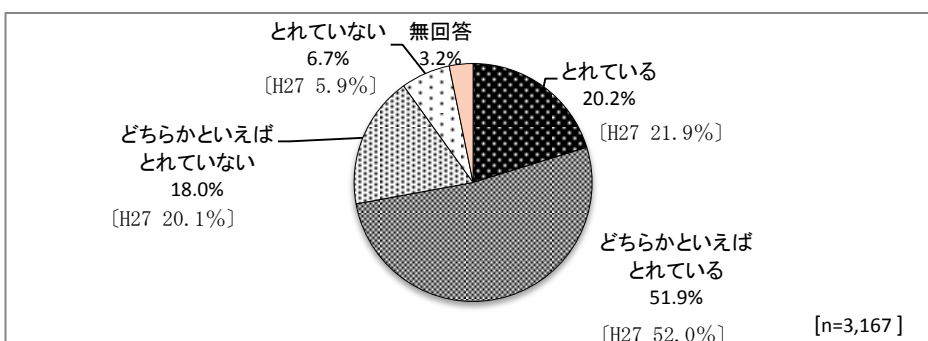
お子さんは平日や休日に家庭で遊ぶ時、室内、室外のどちらが多いですか。（該当するもの1つ選択）



2-6 子どもの基本的生活習慣の確立における「ワーク・ライフ・バランス」の実態

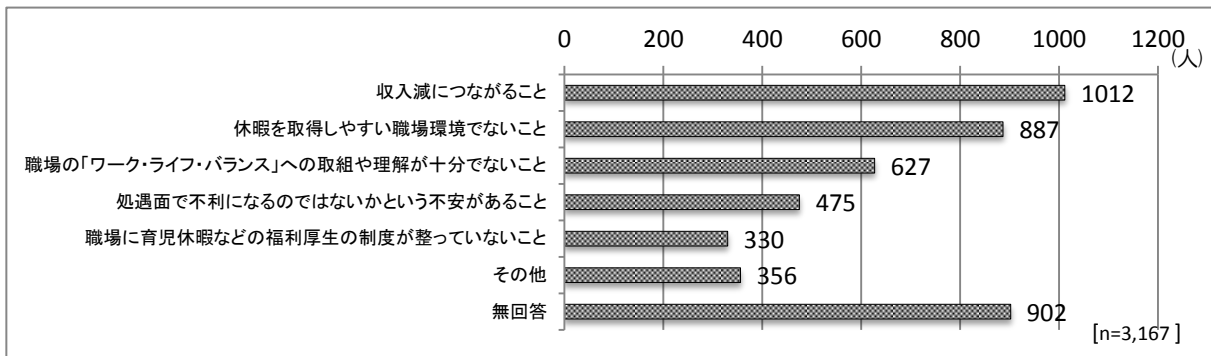
お子さんの基本的生活習慣の確立のために、親の仕事と生活のバランス（「ワーク・ライフ・バランス」）がとれていますか。（該当するもの1つ選択）

★ 目標指標 3, 9



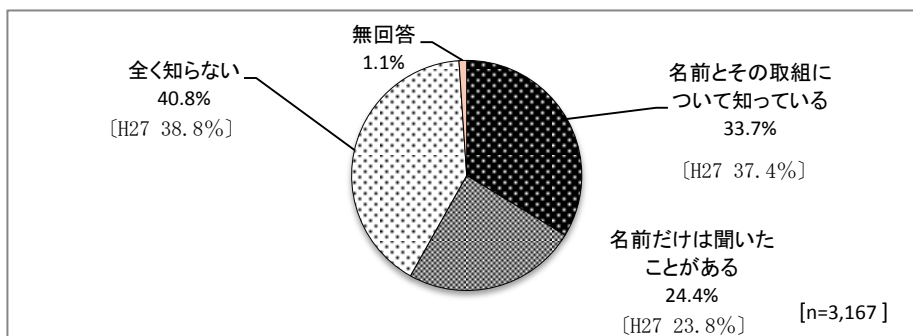
2-7 「ワーク・ライフ・バランス」がとれていない理由（複数回答）

親の仕事と生活のバランス（「ワーク・ライフ・バランス」）がとれていない理由は何ですか。（該当するもの全て選択）



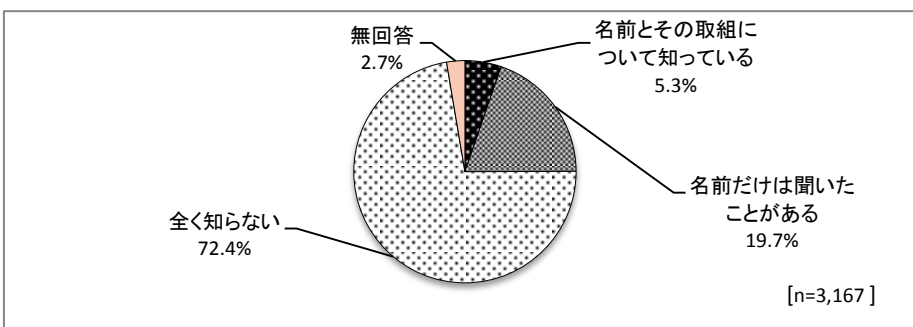
2-8 ルルブル（しっかり寝ル・きちんと食ベル・よく遊ブで健やかに伸びル）について

県では、子どもの生活習慣の確立に向けて「ルルブル」の取組を行っていますが、知っていますか。（該当するもの1つ選択）



2-9 「学ぶ土台づくり」について

県では幼児期の教育の一層の充実を図るために「学ぶ土台づくり」推進計画を策定し、様々な取組を行っていますが、知っていますか。（該当するもの1つ選択）

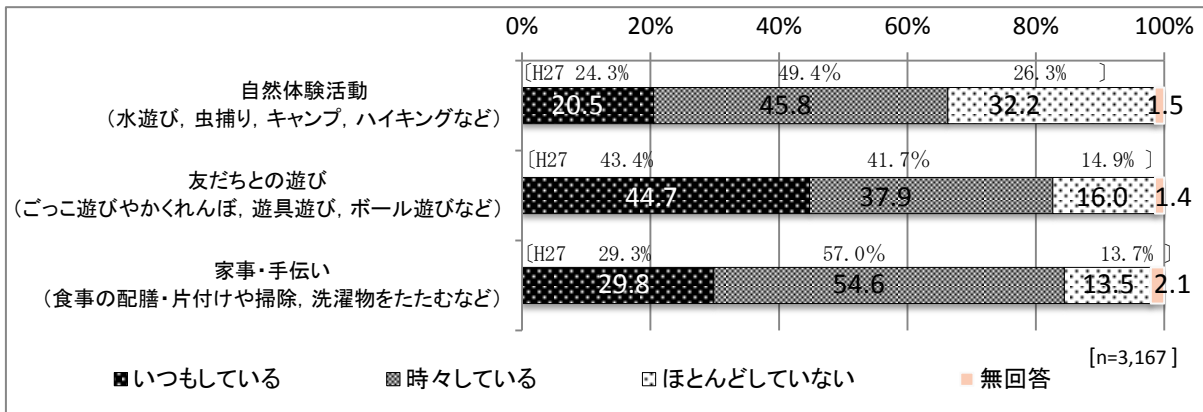


※ H28 追加項目

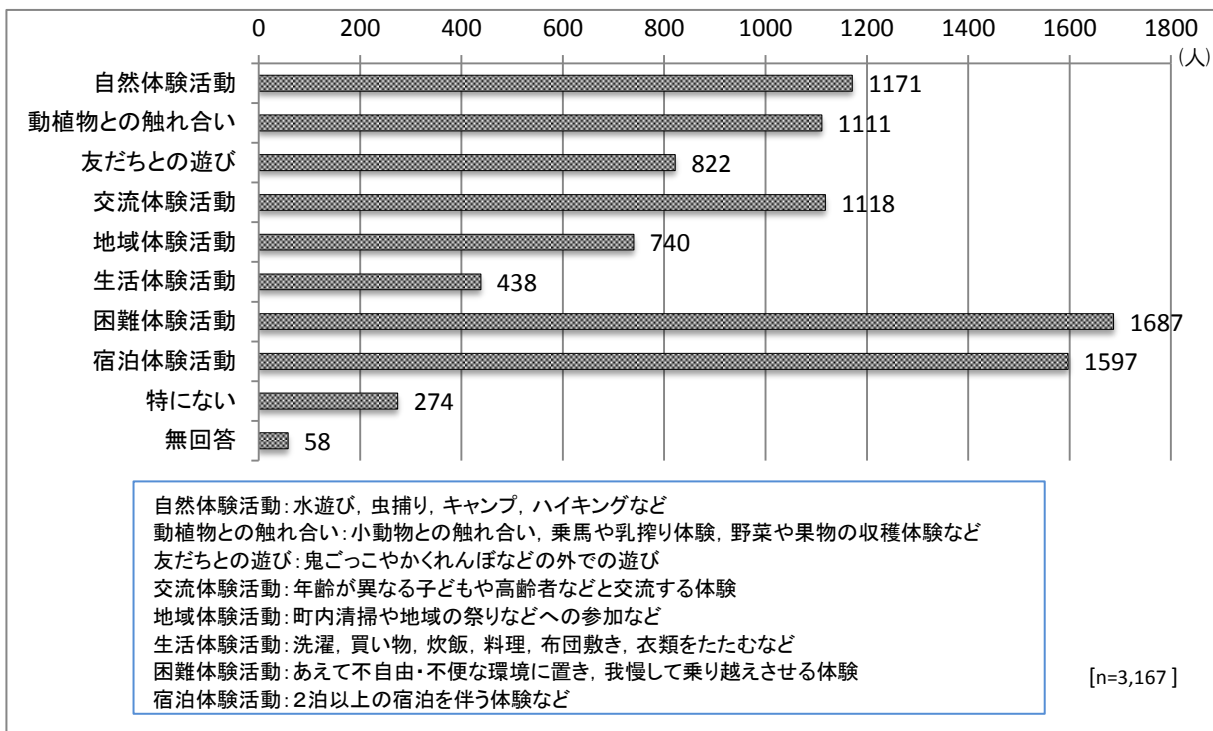
3 子どもの体験活動について

★ 目標指標 10, 11

3-1 家庭でお子さんは次の体験活動をどのくらいしていますか。(それぞれに該当するもの1つ選択)



3-2 お子さんに体験させたいと思う活動のうち、家庭で行ったり参加するのが難しいものは何ですか。(該当するもの全て選択)

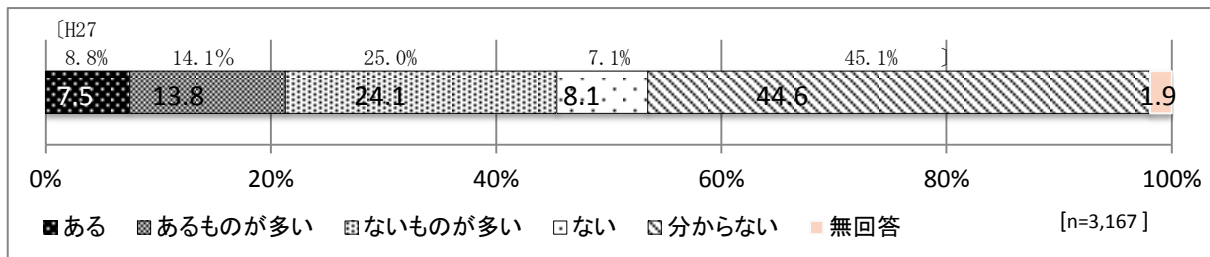


<考察>

・子どもの体験活動については、「自然体験活動」「友だちとの遊び」を「ほとんどしていない」の回答が増加した。「家事・手伝い」については、横ばいではあるが、目標値との大きな差が見られる。年齢別で分析した結果、6歳児のみを取り出しても「家事・手伝い」を「いつもしている」との回答は35%に留まり、目標値の40%とは開きがある。

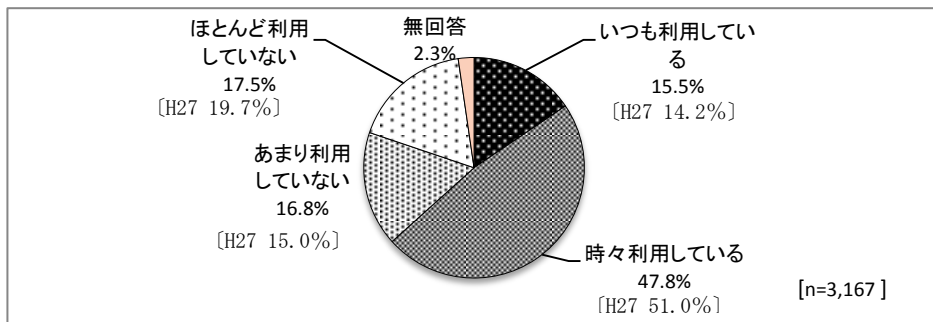
3-3 あなたがお住まいの地域では、3-2で答えた体験活動について参加できるイベントや催しなどがありますか。（該当するもの1つ選択）

★ 目標指標 12



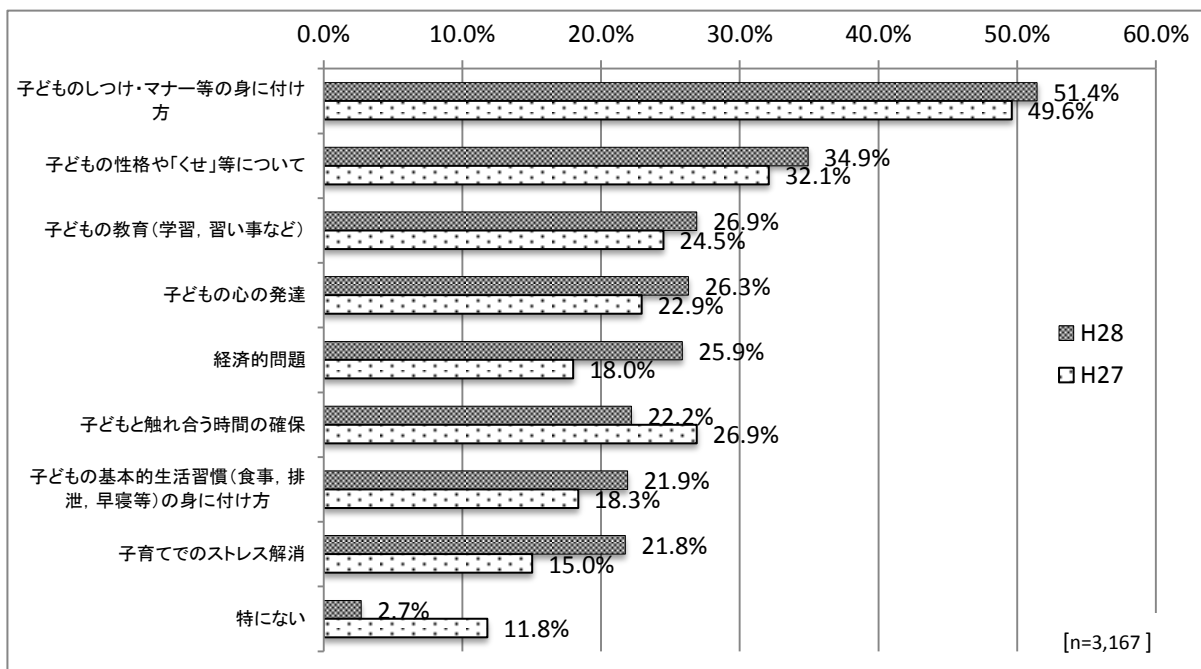
3-4 遊び場として、公園や公民館、児童館などのコミュニティー施設を利用していますか。（該当するもの1つ選択）

★ 目標指標 13



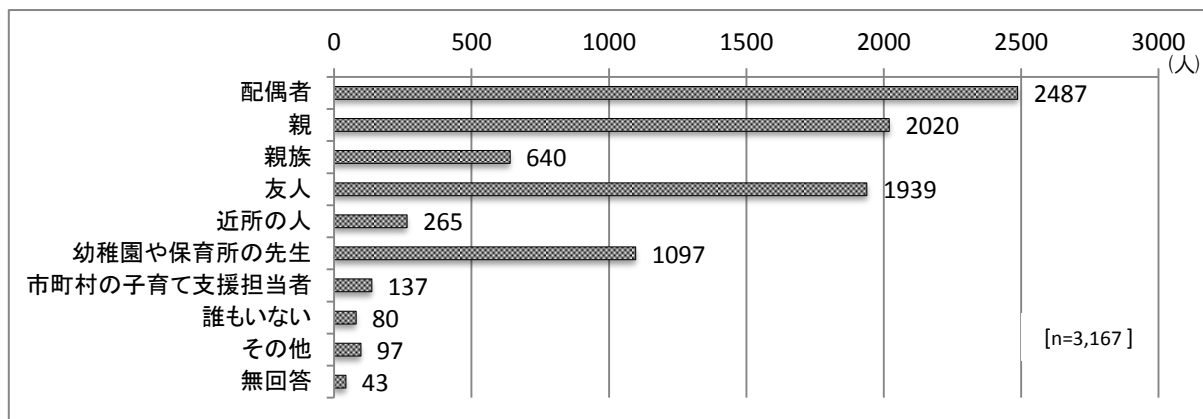
4 幼児教育の環境について

4-1 子育てで悩んでいることは何ですか。（該当するもの全て選択）



4-2 子育ての悩みについて誰に相談していますか。（該当するもの全て選択）

★ 目標指標 17



<考察>

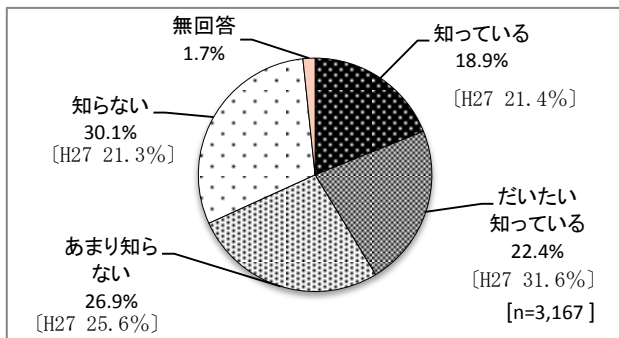
・子育ての悩みについては、回答が多い順に1「子どものしつけ・マナー等の身に付け方」、2「子どもの性格やくせ等について」、3「子どもの教育(学習, 習い事など)」, 4「子どもの心の発達」、5「経済的問題」となった。1, 2番目の項目は昨年度と変わっていない。昨年度3番目に多かった「子どもと触れ合う時間の確保」39.2%は、今年度は項目の中で-4.7%と最も割合が減り、6番目の22.2%に減少した。項目の中で最も増加したのが、「経済的問題」で昨年度の18.1%から25.9%に増えた。続いて増加率が大きかったのが「子育てでのストレス解消」で15.0%から21.8%となった。

・子育ての悩みを相談する相手が「誰もいない」と回答した父親の割合(8.5%)が母親(2.0%)よりかなり高くなっている。

4-3 発達障害などについて相談したいときの情報

お子さんの行動（落ち着きがない、パニックを起こしやすいなど）が気になるときの相談先を知っていますか。
（該当するもの1つ選択）

★ 目標指標 16



4-4 発達障害の知識

発達障害（ADHD, LD, 自閉症など）の一般的特徴や関わり方などについて知っていますか。
（該当するもの1つ選択）

